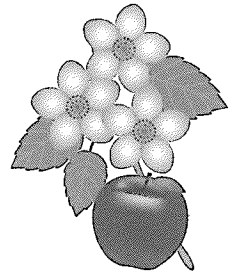


青森



◆青森地区電友会

◎サークル活動

・八甲囲碁クラブ

正月気分抜けやらぬ1月12日、定期総会が開催され、会計報告や前年度の年間成績優秀者への表彰などが行われました。

前年の例会成績優

秀1位は、なんと年間勝率9割4分3厘と圧倒的な成績を残した佐藤俊行さんでした。

以下、2位は藤田

初弥さん、3位は佐々木英幸さんでした。

当クラブの対外活動としては、東北四県親

善囲碁大会への参加や、弘前囲碁クラブとの交流対局のほか、NTTグループOB・OG

会として「青森囲碁フェスティバル団体戦」

への参加(1昨年より参加)ですが、昨年11

月に行われた「青森年金囲碁大会」名人戦(四段クラス)に個人参加をした古川敏雄四段が



ふむふむ

準優勝に輝き、東奥日報に「美しき対局風景」「紳士的な一局」などのほめ言葉とともに棋譜が紹介されました。



う〜む!さてと...

◆弘前地区電友会

◎電信電話記念日退職者祝賀会

平成30年10月23日、総勢105名の出席者でホテルニューキャッスルにおいて盛大に開催となりました。

NTTが主催で実施、総合司会は電友会泉谷副会長が務め、最初に主催者側代表NTT奈良弘前支店長のあいさつ、引き続き弘前地区電友会三上会長の退職者代表あいさつ、弘前退職者の会田口会長の来賓あいさつ、その後、黒石退職者の会大平会長の乾杯の音頭で

祝賀が和やかに始まりました。

懇親会では参加者同士旧交を温めあい、余興は弘前大学生保存会によるねぶた囃子の披露で会場は大いに時間の経過を惜しむ程の盛況ぶりでありました。

最後に、好評の抽選会(弘前地区退職者の会、弘前地区電友会、NTT労組、退職者県協、黒石退職者の会提供の各賞品あり)が始まり、当選者が呼び上げられる度に、あちらこちらで歓声やため息が?出るなど楽しい1日を過ごすことができた事にNTTはじめ関



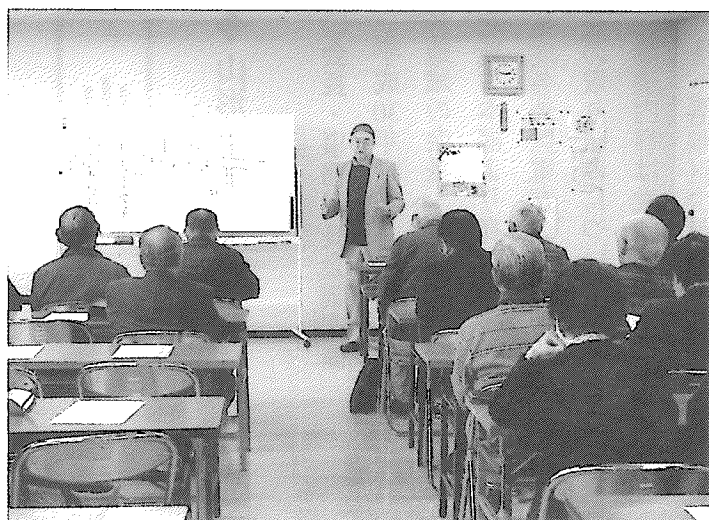
祝賀会模様

係機関等に感謝申し上げます。
次回も元気に再開することをお互いに誓い
合いながら閉会となりました。

◆八戸地区電友会

◎文化講演会開催

八戸歴史研究会会長である三浦忠司先生を
講師に講演を行った。先生にはこれまでに八
戸藩の歴史、八戸城下の庶民の生活様式など
数回にわたり講演をお願いしてきている。今



文化講演会模様

回は『八戸城下の町政と大火』と題し講演さ
れ23名が参加した。

城下2万石の町は全国に沢山あるが八戸の
ような現在までに町並みが残っているところ
は少ないといわれている。城下の町政機構は
町奉行、庄屋、乙名、一般町人に分類され寛延
2年（1749）の藩日記には武家2833人、
町人4439人、合計7272人で領内人口
は百姓を含むと71852人であった。

城下は1804年以降大火が頻発した。

文化3年（1806） 11月 170軒焼失

文政8年（1825） 1月 241軒焼失

文政12年（1829） 4月 404軒焼失

元治元年（1864） 12月 317軒焼失

このように城下の半数を消失する大火が
あった。

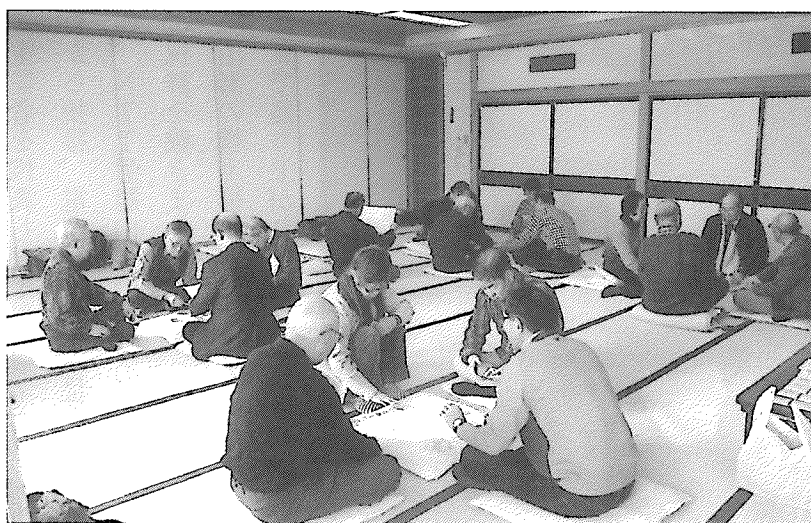
幾度かの大火に見舞われながらも庶民の力
で立ち上がり発展してきた、現代の八戸の町
並みと、そこにあった藩政時代の庶民の生活
に思いを巡らす楽しい1日となった。

◎新春トランプ大会

31年2月14日、八戸福祉公民館にて恒例の
新春トランプ大会が開催されました。今年も
常連の方をはじめ多くの方が参加され
ました。

会場は往年の腕前の發揮に高齢を感じさせ

ない気合が入り、10位までの賞品の獲得に向
けて熱戦が繰り広げられました。ドタキャン
があったりであわてる場面などもありました
が、何とか楽しい1日となりました。



賞品の獲得に向けての 熱い戦い...

